

嶺南地域新産業創出モデル事業

19年度も4月に募集を行います

本年度に開始したこの事業では、基礎研究枠で4件、実用化研究枠で4件の提案が採択され、各企業で積極的に開発が行われており、それぞれ成果が得られつつあります。これらの中から2つのテーマについて紹介します。

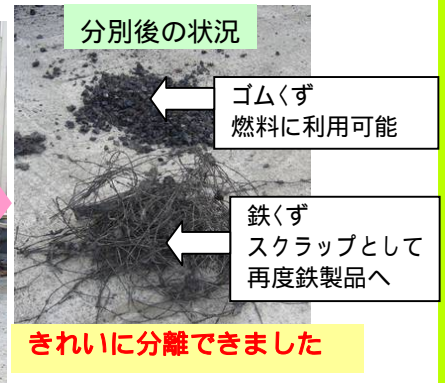
基礎研究

「建設重機のゴムクローラ廃棄物処理方法の確立」



建設重機用キャタピラはゴムの内部に芯鉄線などがあり処理するには手間が多く、リサイクルされていないものも多い現状にあることから、分離処理するためのシステムを開発しているものです。この技術は日本原子力研究開発機構の技術を活用しています。

開発企業:大鉄建機(株)
(敦賀市)



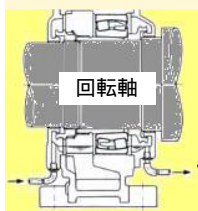
実用化研究

「画像解析技術を応用した自動粒子計数器の開発」

原子力発電所等で軸受などの磨耗や劣化の進行を把握するため、潤滑油中の微粒子を自動的に計数する装置を画像解析技術を応用して開発するものです。

開発企業:(株)プラントテクノス
(敦賀市)

発電機などの軸受
(下の絵は汎用的なもの)

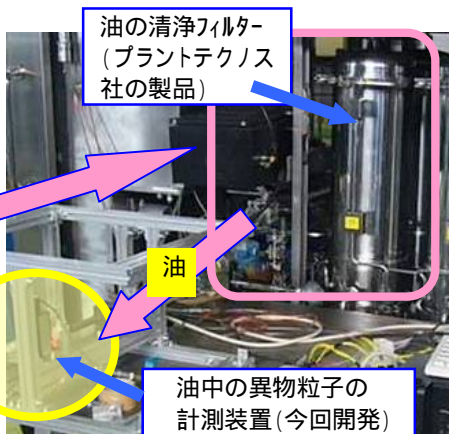


浄化前の
潤滑油

油

油

浄化後の潤
滑油(戻り)



装置の性能を検討しているところ
左)エネ研 祝コーディネーター
右)プラントテクノス 山岸社長

原子力・エネルギー関連技術シーズ発表会

研究会活動のいっそうの充実や新たな方向への展開を検討していくため、福井県内の大学・研究機関等が持っている最新の技術シーズに関するパネル展示を行いました。

日本原子力研究開発機構による「超臨界流体を用いる金属の分離技術」、福井大学による「金属材料劣化に伴う初期析出過程の検出」など、8件について発表されました。

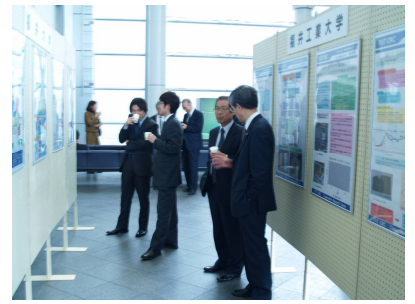
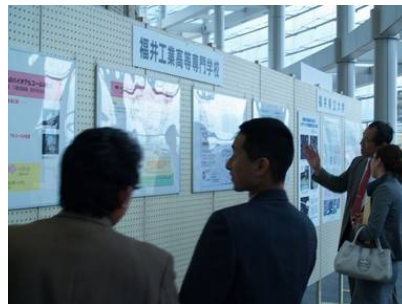
開催日：平成19年2月23日(金)
会場：福井県若狭湾エネルギー研究センター ホール
主催：(財)若狭湾エネルギー研究センター
(財)ふくい産業支援センター
後援：福井県、福井商工会議所、敦賀商工会議所、小浜商工会議所
参加者数：約130名



福井大学高島教授がフッ素の利用事例を発表し、会場からの質疑に答えているところ。

< パネル展示 >

福井大学、福井工業大学、福井県立大学、福井工業高等専門学校、関西電力(株)、(株)原子力安全システム研究所、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構、(財)若狭湾エネルギー研究センターより総数で約60枚のパネル展示を実施。



企業経営総合相談のご案内

「拠点化推進組織」の事務室内に、テレビ電話を利用した相談システムが設置されており、(財)ふくい産業支援センターの経営の専門家が、みなさんからのご相談にお答えします。

お気軽にご利用ください。

ふくい産業支援センター

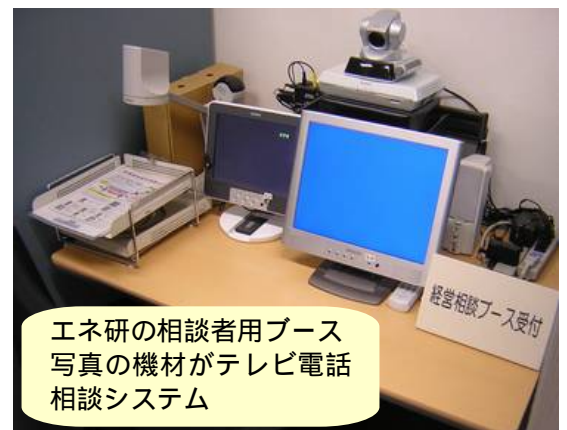
<http://www.fisc.jp/>
総合相談窓口
Tel:0776-67-7400



テレビ電話
相談システム

若狭湾エネルギー研究センター

技術支援・相談チーム
TEL:0770-24-7273



エネ研の相談者用ブース
写真の機材がテレビ電話
相談システム

ご案内

ネットワーク推進事業 成果発表会

開催日：平成19年3月20日(火) 会場：福井ワシントンホテル3階『天山の間』

主催：(財)若狭湾エネルギー研究センター、(財)ふくい産業支援センター 後援：福井県

- ・基調講演 「日本のものづくりが世界をリードする展開」
～自動車、デジタル家電、素材産業で復興する日本経済～ 半導体産業新聞編集長 泉谷 渉 氏
- ・成果発表(ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業の事業報告、5研究会の活動報告)
- ・ポスターセッション(可能性試験調査研究と国の研究開発プロジェクト採択テーマの成果概要)
- ・交流会

県立図書館への出展 3月17日(土)～3月21日(水) *3月19日(月)は休館です
研究内容を紹介するパネルなどを設置します。

<http://www.werc.or.jp/>